

Name : 柴村菜摘 Age : 11歳 Date : 5月5月(土)

私は、だれもが地球市民として、平等に暮らせる
ようにしたい。そして、何よりも世界中のみんなが
笑って暮らせるような平和な世の中をつくりたい。
そのためには、私は次のような3つのことが
必要だと思う。

まず1つ目。「助け合うこと」

助け合うのは人間どうしだけではない。地球上に
生きる、命ある生物すべてにあてはまるのだと思う。
今、世界中で争いがおきている。そして、そのような
くだらない人間どうしの争いは、罪なき人々を巻き
こみ、底へつきおとす。人間どういで争い助け合え
ないのなら、人間以外の生物とどうして助け合う
ことなどできるだろ？

また、物を買へば捨てせいたくな暮らしを続ける
人だっている。この人たちは、本当の幸せ」という言葉の
意味を理解していないのだろうか。「幸せ」とは、せいたくな
暮らしをすることではなく、みなが笑顔で暮らせ
ることばのだといくことを。

次に2つ目。環境や資源を大切にすること

地球上に残された資源は少ない。地球の周りの環境はどんどん悪化している。2つとも、人間のせいなのだ。消費した、あるいは悪化させたとは思っていなくてもやがてそのような行動をとってしまっているのだ。けやくまた森林をこれしたり、空気をよごしたりしている。全く人間は環境や資源に支えられていろから生活できているということを忘れていない。資源を使うなど言っているわけではない。今していることが本当に必要なことなのかを理解してほしいと言っているのだ。

最後に3つ目。「自分にできる、地球を救うための対策を考えること」

私は、地球市民の一部である人間一人一人が少しずつでも努力したり、それが大功力となり地球を救うことができるのではないかと思う。

例として、私の家で行っていることを挙げてみる。

私の家では移動するときの交通機関に気をつけている。例えば、本当に遠い所以外は徒歩で行く。タクシーやバスは使わない。空気をあまりよごしたくないし、むだがエネルギーを使いたくないからだ。

また、私の家の庭ではたくさんの植物を育てている。大きいのやら小さいのやら、色々ある。私は、植物を育てるという行いはとても良いことだと思います。なぜなら、見た目もさわやかでよくなるし、空気もあれいになるとと思うから。

私の家でしている主な活動はこのくらいだが、他の国で行っていることも知っている。

サウジアラビアでは、ゴミ箱の横に機械を置いている。どんな機械かといふと、「ボトルのキャップを石油に変える」というものだ。私はこの機械はすばらしいと思った。だから、他の国にも普及させたいと思った。でも、そう簡単に手に入ることはないと。せいたくが国や戦争ができるようが、お金があり余っている国はそのような機械を買ったりつくったりして貧しい国にさしあげるべきだ。

私は、「地球をすばらしい国にみがき上げよう」そう、多くの人に思ってもらいたい。

今こそ、世界中の心を1つに！